

# 中小企業景気動向調査レポート (調査期間:平成29年6月1日～6日)

(平成29年4月～6月実績、平成29年7～9月予想)

平成29年6月発行  
西尾信用金庫  
企業支援部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
125	26	34	49	39	21	294

<全体の景況>

### 当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/03	8.8	-3.8	8.8	24.5	-2.6	-4.8	7.8
29/6見込	2.4	-11.5	-11.8	6.1	-10.3	-9.5	-2.4
29/9予想	0.8	-15.4	-14.7	0.0	-7.7	-14.3	-4.8

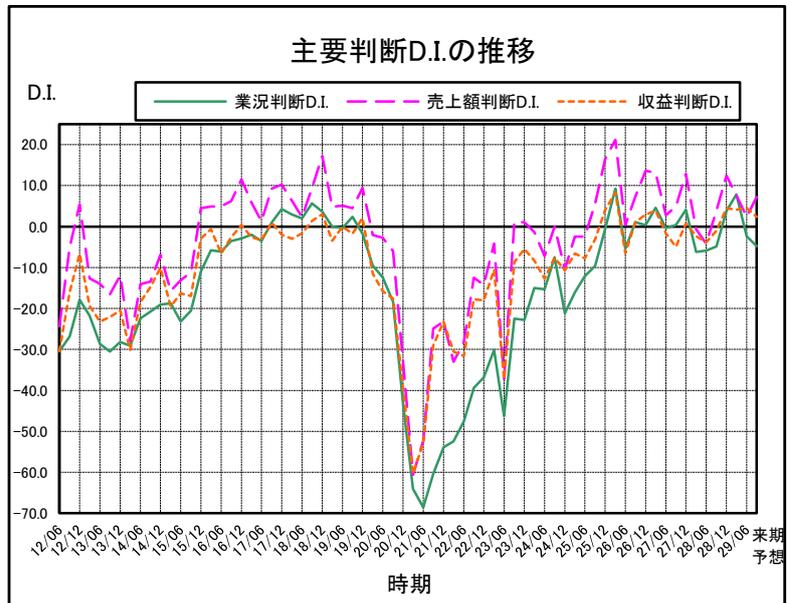
### 当期売上額判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/03	1.7	4.0	14.7	26.5	0.0	4.8	7.6
29/6見込	9.8	-7.7	0.0	2.0	-5.1	-9.5	2.4
29/9予想	11.5	3.8	5.9	6.1	2.6	0.0	7.2

### 当期収益判断D.I.

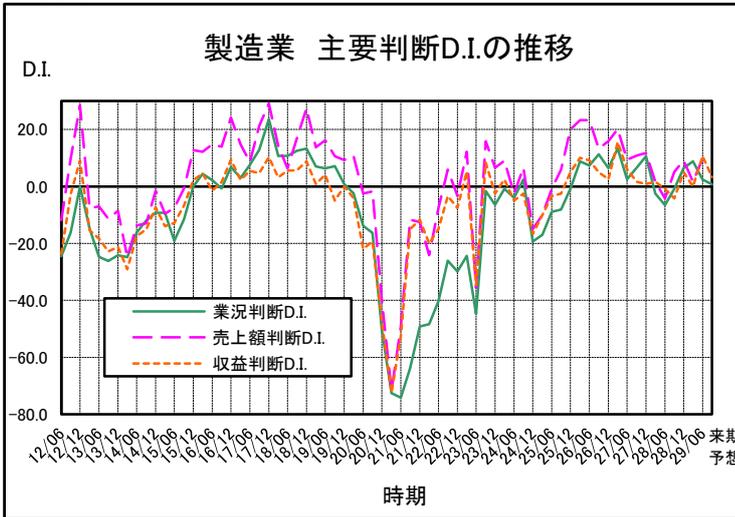
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/03	0.0	-8.0	14.7	22.4	-5.1	0.0	4.1
29/6見込	10.7	-7.7	2.9	10.2	-5.1	-9.5	4.5
29/9予想	3.3	-3.8	11.8	0.0	0.0	0.0	2.4

当期業況判断D.I.は▲2.4(前期比-10.2)、当期売上額判断D.I.は2.4(同-5.2)、と大幅に低下した。当期収益判断D.I.は4.5(同+0.4)と横ばいの見込みである。また、来期についても、業況判断D.I.が▲4.8(当期比-2.4)とさらに低下することが予想される。売上額判断D.I.は7.2(同+4.8)と回復が予想されるものの、収益判断D.I.は2.4(同-2.1)と弱含みの推移である。輸出等、需要は堅調なもの、製造業、建設業を中心に人手不足が企業の収益に影響を与えると予想される。



\*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

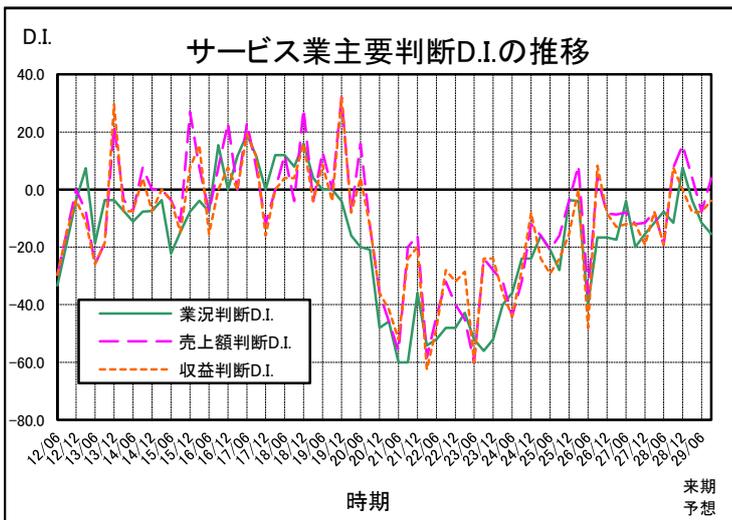
< 業種別 >



製造業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/03	8.8	1.7	0.0
29/6見込	2.4	9.8	10.7
29/9予想	0.8	11.5	3.3

< 製造業 >

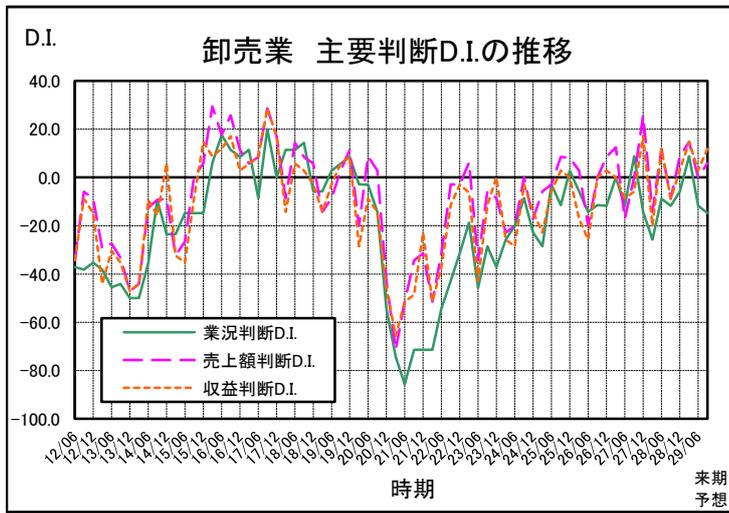
当期業況判断D.I.は2.4(前期比-6.4)と景況感は大幅に低下した。しかし、当期売上額判断D.I.は9.8(同+8.1)、当期収益判断D.I.は10.7(同+10.7)と、業況は大幅改善が見込まれる。一方、来期については業況判断D.I.は0.8(当期比-1.6)、売上額判断D.I.は11.5(同+1.7)、収益判断D.I.は3.3(同-7.4)と予想される。輸出は引き続き堅調だが、海外情勢の変化による為替変動リスクへの懸念が経営者マインドを低下させている。また、人出不足D.I.は▲9.8と依然として高い。来期予想についても▲9.2となっており慢性的な人手不足が続いている。



サービス業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/03	-3.8	4.0	-8.0
29/6見込	-11.5	-7.7	-7.7
29/9予想	-15.4	3.8	-3.8

< サービス業 >

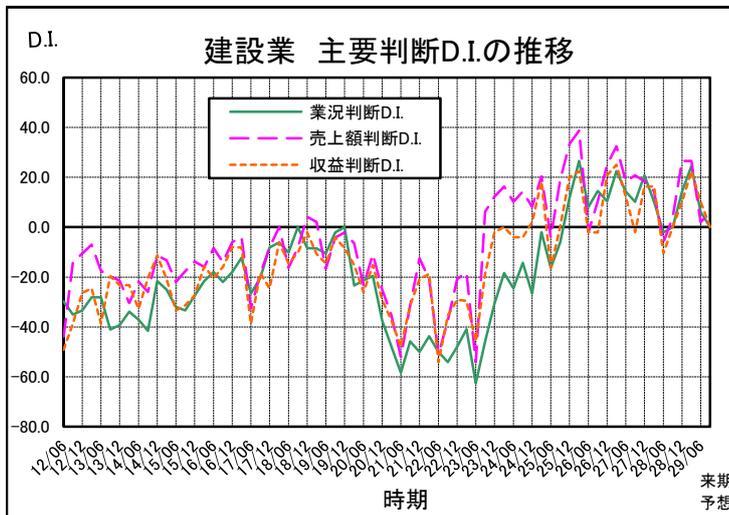
当期業況判断D.I.は▲11.5(前期比-7.7)、当期売上額判断D.I.は▲7.7(同-11.7)、と大幅に低下した。また当期収益判断D.I.は▲7.7(同+0.3)と、いずれも弱含みの推移を見込む。なお、50.0%の企業が経営上の問題点として“同業者間の競争の激化”を挙げており、個人消費の低迷に加えて地元サービス業者の景況感・業況を厳しくしている。



卸売業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
29/03	8.8	14.7	14.7
29/6見込	-11.8	0.0	2.9
29/9予想	-14.7	5.9	11.8

<卸売業>

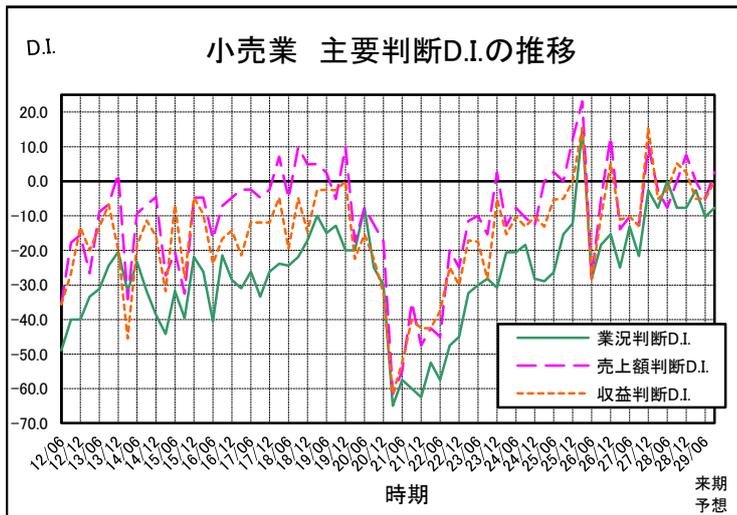
当期業況判断D.I.は▲11.8(前期比-20.6)、当期売上額判断D.I.は0.0(同-14.7)、また当期収益判断D.I.は2.9(同-11.8)と、いずれも大幅なマイナスとなった。原材料価格の上昇が、足元の景況感・業況を低下させている。一方来期は業況判断D.I.は▲14.7(当期比-2.9)、売上額判断D.I.は5.9(同+5.9)、収益判断D.I.は11.8(同+8.9)と、景況感は弱含みながらも、業況は改善が予想される。



建設業	業況判断 D.I.	売上額 判断D.I.	収益判断 D.I.
29/03	24.5	26.5	22.4
29/6見込	6.1	2.0	10.2
29/9予想	0.0	6.1	0.0

<建設業>

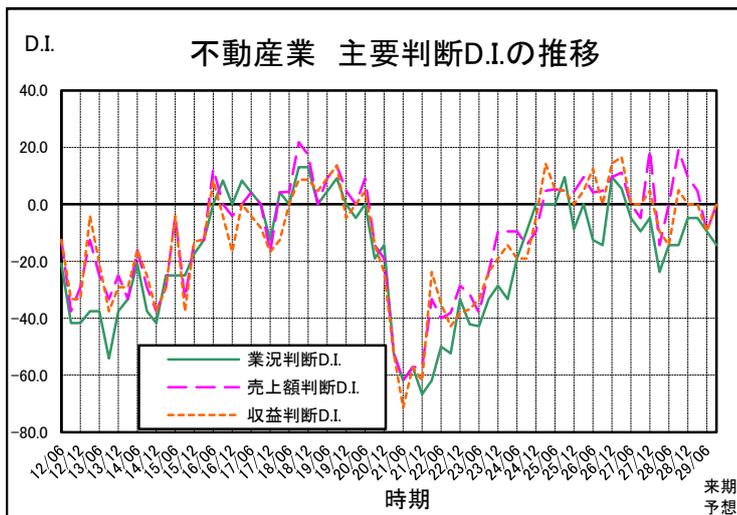
建設業は公共事業が閑散期に入ったことから景況感・業況共に悪化し、当期業況判断D.I.は6.1(前期比-18.4)、当期売上額判断D.I.は2.0(同-24.5)、また当期収益判断D.I.は10.2(同-12.2)と全項目で大幅マイナスとなる。一方来期は業況判断D.I.が0.0(当期比-6.1)、6.1(同+4.1)、売上額判断D.I.は6.1(同+4.1)、収益判断D.I.は0.0(同-10.2)と予想される。また、人手D.I.は▲24.5と全業種で最も低い。需要が堅調な中、人手不足による受注機会逸失、人件費高騰による収益悪化が懸念される。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/03	-2.6	0.0	-5.1
29/6見込	-10.3	-5.1	-5.1
29/9予想	-7.7	2.6	0.0

<小売業>

当期業況判断D.I.は▲10.3(前期比-7.7)、当期売上額判断D.I.は▲5.1(同一5.1)、また当期収益判断D.I.は▲5.1(同±0)といずれも弱含みの推移を見込む。多くの企業が経営上の問題点として、“同業者間の競争の激化”、“大型店との競争の激化”を挙げており、消費者の節約志向が続く中、価格競争の激化が経営者マインドを低下させている。



不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/03	-4.8	4.8	0.0
29/6見込	-9.5	-9.5	-9.5
29/9予想	-14.3	0.0	0.0

<不動産業>

当期業況判断D.I.は▲9.5(前期比-4.7)、当期売上額判断D.I.は▲9.5(同-14.3)、当期収益判断D.I.は▲9.5(同-9.5)と悪化している。42.9%の企業が経営上の問題点として“売上の停滞・減少”を挙げている。そして、当面の重点経営施策として“宣伝・広告を強化する”企業が66.7%であり、積極的な情報発信により売上の向上を目指す企業が多い。